



Vol. 145

こんにちは としょかんです

発行 延岡市立図書館 〒882-0812 延岡市本小路39-1
TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644

2023年



～ ふくろう通りの企画展 ～

文学賞受賞・候補作品展

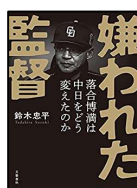
【展示期間】2/4 (土) ～ 3/2 (木)

1月19日(木)に第168回「芥川賞・直木賞」が発表されました!芥川賞には『この地の喜びよ』(井戸川射子//著)、『荒地の家族』(佐藤厚志//著)、直木賞には『地図と拳』(小川哲//著)、『しろがねの葉』(千早茜//著)が選ばれました。

今年も過去の受賞作品を含め「芥川賞・直木賞」の展示を行いますので、お楽しみください♪

その他、全国の書店員が薦める「本屋大賞」や各年のドキュメンタリーや伝記などを表彰した「大宅壮一ノンフィクション賞」の受賞作品とノミネート作品も一緒に展示します。

展示予定の本



『嫌われた監督』

落合博満は中日をどう変えたのか』

鈴木 忠平//著 (文藝春秋)

8年間勝ち続けたにも関わらず、なぜ嫌われたのか。12人の視点から監督・落合博満の実像に迫る、第53回「大宅壮一ノンフィクション賞」受賞作。

省エネルギー月間企画展

～エネルギーについて考える～

【展示期間】2/4 (土) ～ 3/2 (木)

冬季は暖房の使用などによってエネルギーの消費量が多くなるため、資源エネルギー庁では毎年2月を「省エネルギー月間」と定めています。

図書館では「省エネルギー月間」にあわせて、エネルギーについて考えるための企画展を開催します。

宮崎県企業局と連携して、再生可能エネルギーに関するパネルや関連本を展示しますので、この機会にエネルギーについて一緒に考えてみませんか。

ぜひご覧ください。

展示予定の本



『見てわかる! エネルギー革命』

気候変動から再生可能エネルギー、カーボンニュートラルまで』

エネルギー総合工学研究所//著 (誠文堂新光社)

エネルギーとは何か?どんな種類があり、どのように使われるのか?身近にあるエネルギーの種類や歴史など、写真や図解と一緒に学べる1冊。

市制施行関連企画 16mm映写会・写真パネル展

延岡市は、令和5年2月11日に「市」になってから90歳の誕生日を迎えます。これを記念して、図書館では市制施行50周年時に制作された、当時の貴重な16mmフィルムの映写会を行います。また同時に、昭和の頃の延岡市内の風景写真をパネル展示します。参加無料、事前予約不要です。ぜひお越しください。

映写会

上映フィルム『のべおか50年の歩み』(25分)

開催日:2月9日(木)、10日(金)

時間:10:30～、14:00～

場所:カルチャープラザのべおか2階

セミナー室2



市制20周年記念式典 (昭和28年//延岡市役所)

参考資料名:

『目で見える延岡・日向・西白杵・東白杵の100年』

(甲斐亮典//監修

郷土出版社)

パネル展

展示期間:2月7日(火)～12日(日)

場所:カルチャープラザのべおか2階

セミナー室2前の通路



萩町の道路舗装工事(昭和32年//延岡市役所)

参考資料名『目で見える延岡・日向・西白杵・東白杵の100年』

(甲斐亮典//監修 郷土出版社)

司書おすすめの本



[情報提供: 図書館流通センター]



『アリエナイ毒性学事典』

くられ//文 (三オブックス)
「危険ドラッグ」はどこから来て、どうして危険になった? 「空間除菌」はウイルスに無害で人間に毒!? 「食品添加物」は毒なの? 毒物の魅力と魔力を解き明かす。『アリエナイ理科ポータル』等掲載を再編集。



『少女漫画ぼく愚痴る。』

たら実//著 (KADOKAWA)
繊細な絵と悲痛な叫びが絶妙マッチ! 少女漫画×主婦あるあるイラスト集。ブログやSNSに掲載したものをリメイクし、『ウォーカープラス』連載分、初公開の描き下ろしとともに収録する。



『図書館にまいこんだこどもの大質問 司書さんもビックリ!』

こどもの大質問編集部//編
(青春出版社)
町の図書館や放課後の図書室には、子どもたちから、じつに多種多様な質問が寄せられている。「おひめさまになりたい!」「秘密基地をつくるにはどうすればいい?」など、59のレファレンス事例を紹介する。



『虚数 数の概念を変えた“想像上の数”』

ニュートン編集部//編著
(ニュートンプレス)
2乗するとマイナスになる数、「虚数」。発見の歴史とエピソードをはじめ、数の世界の終着駅「複素数」や、身のまわりや物理学で活躍する虚数、世界一美しい数式と虚数の不思議など、虚数の基本と応用をやさしく解説する。

『猫のようにミステリアスな作品が書けたら…』

図書館では毎年、1~2月にかけて『干支にちなんだ本』展を行っています。この図書館だよりが出ている時には終わっているのですが、今年でしたら「うさぎ」にちなんだ本をメインに、干支に関する本が展示されました。個人的にうさぎ好きなので、こういう本もあったのかと展示を楽しんでいました。しかし、毎年、この展示の度に思うことがあります。色々な動物たちが取り上げられている中で、多数の愛好家がいるのに、取り扱われない動物、「猫」の不憫さです。よくよく考えてみると、当館では毎年様々な企画展示を行うのですが、猫が注目される機会がありません。そこで、今回は2月22日が「猫の日」でもあることから、猫に関する本をいくつか紹介したいと思います。



『黒猫・黄金虫』
エドガー・アラン・ポー//著
佐々木直次郎//訳
(新潮社)

まず最初に紹介するのは、タイトルに書いている名言を残したエドガー・アラン・ポーから『黒猫』です。理知的で優しい主人公が、お酒で身を崩し暴力的になっていき、可愛がっていた黒猫を手にかけてから、その黒猫の復讐としか思えないような不可思議なことが起こるようになる。という短編ホラー作品です。



『猫弁』
大山 淳子//著
(講談社)

日本作家の読み物として、猫がタイトルにつく作品と言えば、すぐに浮かぶのは夏目漱石の『吾輩は猫である』でしょうか。その他ですと、短編作品も含めてシリーズ累計52作品もある『三毛猫ホームズ』シリーズ(赤川次郎/著)があります。読みやすい文体で長く続いていることもあるのか、幅広い世代によく借りられている作品です。また、主人公が弁護士事務所でたくさんの猫を飼っている『猫弁』シリーズ(大山淳子/著 講談社)もお勧めです。

読み物以外の本としては、写真家の岩合光昭さんが、『あのネコに会いたい(辰巳出版)』や『自由ネコ(辰巳出版)』など、たくさんの本を出されています。岩合さんの撮る猫の自然な姿は、見るだけで癒されるかもしれません。また、癒しを求める方には、『疲れたら休めばいい、ということが何故こんなにもヘタクソなのだろう。(ともえ/作・絵 学研プラス社)』という本が、猫のイラストと癒し系の言葉でこころをずっと楽しくしてくれ、少し優しい気持ちになれるかもしれません。

最後に、最近入った本の中から「にゃんこ四字熟語辞典」をご紹介します。一心不乱や虎視眈眈など、様々な四字熟語の意味にあっている猫の写真が添えられています。もちろん、四字熟語の意味も書かれているので、クスツとしながら少し賢くなることも出来る本です。今回ご紹介した本以外にも、図書館には猫に関する本がたくさんありますので、手に取ってみてください。



『あのネコに会いたい』
岩合 光昭//著(辰巳出版)



『にゃんこ四字熟語辞典』
西川 清史//著(飛鳥新社)

新刊案内（一般書・YA向け図書）

〈一般書〉



『バスに集う人々』 西村 健//著 (実業之日本社)

路線バスで各地を巡りながら、人と出会い、日常の謎を追う。謎を解き明かすのは、元刑事・炭野の妻・まふる夫人。最後に彼女が挑んだのが、フィッシング詐欺常習犯の行方で…。『アップルブックス』配信を書籍化。



『愛の告白100選 映画のセリフでころをチャージ』

伊藤 さとり//著 朝野 ペコ//イラスト (ムービーウォーカー)

「好きだ。ありのままの君が」(「ブリジット・ジョーンズの日記」)、「ずっと愛してるわ」(「ラ・ラ・ランド」)…。映画パーソナリティ・心理カウンセラーの伊藤さとりが名作映画100本に登場する“愛の告白”を紹介。



『伝説の名馬図鑑』 江面 弘也//監修 (イースト・プレス)

ハクチカラからオグリキャップ、シャフリヤールまで、各年代を代表する伝説の名馬を、写真や血統&戦績表といったデータとともに紹介。世界に挑み続けた日本馬の歩みと海外GIを勝った日本馬一覧なども収録。



『「させていただく」大研究』 椎名 美智//編 (くろしお出版)

なぜ皆、こんなにも「させていただいて」いるのか？ 補助動詞として使われている授受動詞、特に「させていただく」に焦点を当て、さまざまな分野の言語学者が各自の専門の視点から分析した論考を集成する。



『そろそろいい歳というけれど』 ジェラシーくるみ//著 (主婦の友社)

今すぐ誰かの妻にはなりたくないけど1人で生きる覚悟もない、出産の限界と育児の大変さ、忍び足でやってくる老いとの付き合い方…。アラサー女子に降りかかる無為な焦りへの対処法や悪あがきを綴る。「お悩み相談室」も収録。



『おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った』 金井 真紀//著 (岩波書店)

おばあちゃんが猫でテーブルを拭く？ ヒョウのしっぽをつかむ？ 風を食べる？ マオリ語、バスク語、ズールー語、台湾語など、世界36の言語の心が喜ぶことわざを、イラストとともに紹介する。

〈YA(ヤングアダルト)〉



『放課後の読書クラブ』 小手鞠 るい//著 (偕成社)

木の物語、犬の物語…。著者自身のその後の進路や生き方に、大きな影響をあたえた本をテーマ別に紹介する。「若草物語」「人間失格」から着想を得て書かれた短編2編も収録する。『Kaisei Web』連載を加筆し書籍化。



『指と耳で見る、目と手で聞く』 金治 直美//著 (ペリかん社)

見えない、見えにくい、聞こえない、聞こえにくい…。視覚障害・聴覚障害のある人たちが体験している世界って、どんなだろう？ 障害のある人の文化、優れた能力、社会の問題点など、障害のある人たちの豊かな世界を紹介する。

新刊案内(児童書)

〈児童書〉



『こっちとあっち』 谷川 俊太郎//著 樋勝 朋巳//絵 (クレヨンハウス)

ぼくがいるのは「こっち」。友だちがいるのは「あっち」。あっちから友だちがやってくると楽しい。けれど、けんかになると友だちは帰ってしまう。今度はぼくが「あっち」に行って…。異空間を往来する浮遊感を楽しめる絵本。



『とんでやすんでかんがえて...』 五味 太郎//作 (偕成社)

ことりさんはちょっと飛んで、ちょっと休み、木の実を食べたら、またちょっと飛んで、すこしずつ進んでいきます。でも、突然大きな海が! ことりさんは…。自分のタイミングは自分で決めていいと、子どもたちを応援する絵本。



『つきよのアイスホッケー』 ポール・ハーブリッジ//文 マット・ジェームス//絵 (福音館書店)

12月のカナダ。森のビーバー池が凍りついた。満月の夜、少年たちは自分の足で雪に埋もれながら池に向かう。最高の氷、冬が創り出した完璧な氷でアイスホッケーをするために…。極寒の地の少年たちの夜の冒険物語。



『だれもみえない教室で』 工藤 純子//著 (講談社)

小6のクラスで起きた、ランドセルに金魚のエサが入れられる事件。被害者も加害者もクラスメートも担任教師も「いじめ」という現実からは逃れられない。子どもも大人も歯を食いしばって現実と向き合う。



『キリムからの手紙 願いを伝える遊牧民の布』 桐山 エツコ//さく・え (かもがわ出版)

西アジアから中央アジア一帯において1500年以上遊牧民の生活とともにあった織物、キリム。その歴史、作られ方、文様の意味などをイラストで紹介。異文化に対してリスペクトの気持ちをもつことの大切さを伝える絵本。



『小学生でも安心!「海釣り」と「魚料理」きほんBOOK』

山口 充//監修 (メイツユニバーサルコンテンツ)

釣って、学んで、さばく小学生のための魚バイブル。海釣りの初心者に向けて、釣りに行く前に役立つ知識や、現地で役立つ知識、釣った後の調理に役立つアイデアなどを、豊富な写真とともにわかりやすく紹介する。

[情報提供: 図書館流通センター]

2月

延岡市立図書館カレンダー

3月

月	火	水	木	金	土	日
		1 えほんのじかん	2 おはなし会	3 資料整理 休館日	4	5
6 休館日	7 こども 映写会	8 えほんのじかん	9 おはなし会 市制施行関連企画 16mm映写会	10	11 祝日開館	12
13 休館日	14	15 えほんのじかん	16 おはなし会	17	18	19
20 休館日	21 こども 映写会	22 えほんのじかん	23 祝日開館	24	25	26
27 休館日	28					

月	火	水	木	金	土	日
		1 えほんのじかん	2 おはなし会	3 資料整理 休館日	4	5
6 休館日	7 こども 映写会	8 えほんのじかん	9 おはなし会	10	11	12
13 休館日	14	15 えほんのじかん	16 おはなし会	17	18	19
20 休館日	21 祝日開館	22 えほんのじかん	23 おはなし会	24	25	26
27 休館日	28	29	30	31		

開館時間 【火～金】 9:00～19:00 【土日祝】 9:00～17:00 ※時間外の返却は、返却ポストをご利用ください

【えほんのじかん】 10:30～11:00 対象: 0～3才程度 場所: おはなしのへや

【おはなし会】 16:00～16:30 対象: 未就学児 場所: おはなしのへや

【こども映写会】 毎月第一・第三火曜日 15:00～15:30 (約30分) 場所: おはなしのへや



図書館HP Instagram